



本校
ホームページ
QRコード

自然教室を行いました



5月15日(水)・16日(木)の2日間、1年生が四日市市少年自然の家(以下、『自然の家』という。)とその周辺の里山林において自然教室を行いました。

1年生にとっては、中学校入学後、初めての校外での(宿泊)行事となります。

天候が心配されましたが、外での活動時には雨も少しパラついた程度で、当初計画していた通りの活動を行うことができました。

例年、この自然教室では初日の活動として、『大池ウォッチング(地域学習)』を行い、班別に校区内の名所・旧跡等を巡る学習を行っていました。ただ、本年度より学校から自然の家への移動で使用するバスの出発時刻が早くなり、大池ウォッチングを実施することができませんでした。この点が、これまでの本校自然教室の活動内容と違うところとなりました。

入学してから約1か月半が経ちましたが、教室等ではなかなか話す機会の少なかった仲間とも、このような校外での活動を通して少しでも関わりをもつことができたのではないのでしょうか。

今回の自然教室を通して、『自然のこと・仲間のこと』などを知るよい機会になれば、それが大きな成果だと思います。

以下に、全体の様子をお伝えします。

【自然教室(1日目)】《5月15日(水)》

＜少年自然の家・周辺＞



入所式の後、自然の家周辺でハイキングをしました。自然の家周辺には、『はぎのこみち』や『もみじのこみち』など、いくつかのルートが整備されていて、今回は学級別に3コースに分かれ、約1時間あまりの時間、森林の中をめぐりました。

普段、なかなか来られない場所であることもあってか、上り下りの山道では、「つかれた!」「また、上り?」といった声も聞かれましたが、見晴らしのいい場所では、何人かから自然に「ヤッホー!」という声が出ていました。また、足元を見ながら歩いている最中に、「(くつ等に)ヒルがついていた、取って!」といった声もあり、地元でこのような場所があったことを再確認できた時間だったと思います。





その後、里山保全活動を行いました。はじめに、自然の家の職員の方から『里山保全活動とは』という内容でお話がありました。

昔は、ご飯を炊いたり、お風呂を沸かしたりするなどの時には木（薪）を使っていましたが、今はそのような場面がほとんどなく、山の木々は徐々に使われなくなってきました。人が適度に木を切るなどして、動植物が増え豊かな生態系を保持していくためなどの活動として里山保全活動を行っているということです。

今回は、『常緑樹』を各班2本、のこぎりで伐採しました。『のこぎりの歯を、このように木にあてて切るとよく切れるよ』と仲間の班員に声をかける生徒もいて、こちらのほうが感心する場面もありました。



1日目の夜は、疲れもあってか多くの生徒が、早めに眠りについていました。

【自然教室（2日目）】《5月16日（木）》



2日目は起床時には雨が降っていましたが、活動を始めるころにはやみました。

2日目のメインの活動は、『創作活動』です。内容は『マイ木箸づくり』と『焼き杉』です。

生徒は、熱心に作業に取り組んでいました。『マイ木箸づくり』では、小刀の使い方に苦戦しながらも、集中しながら木を削っていました。その時の集中力を、これからの生活でも大切にしたいと感じました。『焼き杉』では、杉の板材を焼き、焼いた板材を必死になって磨く生徒の姿が印象的でした。その焼き杉の板に絵や文字を描（書）き入れ、自分だけの一枚をつくりあげていました。



今回の自然教室では、全体的にほぼ予定（時間）通りに行動することができました。

一つひとつの活動を楽しそうに取り組む姿、また周りの人にやさしく接しようとする姿がたくさん見られたことが良かったことです。

もう一つ、自然の家の職員さんに挨拶やお礼を伝える言葉が何度か聞かれたことも良かったことでした。

今回の自然教室でのようすから、生徒たちのこれからの成長がとても楽しみになりました。

自転車通学「安全確認」



- ・自転車は1列で走行します！ 2列3列で並走しません！！
- ・人や車の近く、曲がり角ではスピードを落とし、「止まれ」の交差点では一旦停止します！
- ・通学以外での自転車利用時にもヘルメットを着用しましょう！